

【NEWS RELEASE】

2021年3月8日

各 位

株式会社三井住友銀行

サステナリティクス・ジャパンとのグリーン預金適格ガイドライン策定に関する
契約締結について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、お客さまの ESG（※1） / SDGs（※2）への取組サポートを目的として、大手 ESG 格付会社である蘭 Sustainalytics 社（CEO：Michael Jantzi）（※3）の日本法人であるサステナリティクス・ジャパン株式会社（代表取締役：Michael Jantzi）（以下、「サステナ社」）と、グリーン預金適格ガイドライン策定に関する契約を締結致しました。

グリーン預金は、お客さまからお預かりする預金を ESG のうち環境(Environment)分野、特に再生可能エネルギー分野向けファイナンスに充当することで、お客さまに ESG 分野での運用機会をご提供する商品となります。

今後、サステナ社とグリーン預金の適格ガイドラインを策定の上、お客さまからお預かりした預金を環境分野へのファイナンスに運用し、毎年の運用状況をサステナ社に評価頂くことで、透明性を確保しながら、従来のファイナンス支援による調達面に加えて、お客さまの運用面でもサステナビリティの実現に貢献、環境的に持続可能な経済成長を支援していくことを目指してまいります。

2020年4月1日公表の通り、当行含む SMBC グループは、「サステナビリティ宣言」を遂行するための10年間の計画として「SMBC Group GREEN x GLOBE 2030」を策定しました。その中で、特に環境・社会課題解決に向けて、2029年度までにグリーンファイナンス目標額10兆円（「環境関連分野」に特化したサステナブルファイナンス）を掲げ、積極的に取り組んでおります。

当行は、サステナビリティ宣言に基づき、お客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献してまいります。

（※1）ESG

ESGとは環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。関心が高まっている分野であり、企業が与える環境への影響、関係性の反映、管理業務の基準などを提供しています。

(※2) SDGs

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。2030 年までの世界の行動計画「アジェンダ 2030」に含まれる 17 の目標として、2015 年 9 月の国連総会にて 193 の国連加盟国により採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

(※3) Sustainalytics

Sustainalytics は、グローバルなリサーチネットワークを有する Responsible/ESG 投資専門の独立系リサーチ&レーティング機関です。オランダ/アムステルダムに本社を置き、700 社以上のアセットオーナー及びアセットマネージャーに ESG 関連データを提供しています。

以 上